

令和5年度 第3回 中郡小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年10月3日（火） 14時40分から16時00分まで
- 2 開催場所 中郡小学校 会議室
- 3 出席委員 本間 義章、高井 昭、村木 文吉、村木 富代、村松 康乃、
小杉 国宏、松本 英也、鈴木 尚子（学校支援コーディネーター）
- 4 欠席委員 河合 洋子
- 5 オブザーバー 小池 誠（積志協働センター主事）
- 6 学 校 渥美 公恵（校長）、佐藤 佳史（教頭）、岡元 まり（CSディレクター）
- 7 教育総務課 堀田 洋一（指導主事）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 岡元 まり
- 10 議長の選出

司会から、議長の選出について意見を求めたところ、会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 報告事項

- (1) 教育活動の実施状況
- (2) ハートフルサポーターの活動について
- (3) 教職員との懇談の振り返り

12 協議事項

- (1) 地域が考える中郡小学校の姿
- (2) 令和5年度学校運営協議会自己評価表と次年度の目標について

13 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議は成立している旨の報告があった。また、会議録作成のため録音する旨の報告があり、全員異議なくこれを了承した。

(1) 報告事項について委員からの感想等

- ・ボランティアをあふれるくらい増やしたい。
- ・実態を知らないとボランティアへの参加は難しい。自治会でも広めていきたい。
- ・体力テストについては「全体のサポート」としてはどうか。
- ・たんひまのサポートはとても気になる。募集の仕方次第で何かできるかもしれない。
- ・米の代わりに麦を作り、麦の殻を使って帽子やかごを作る等、昔の遊びに使うことも提案したい。
- ・今後も継続的に先生方とのコミュニケーションは取りたいと思う。
- ・以前は地域懇談会があり話ができしたが、今は家庭訪問もなくなり、地域のことを知らない先生が多い。
- ・教職員との懇談は今後も行っていくことで意見が一致した。

(2) 地域が考える中郡小学校の姿

本間委員から東京で行われた研修に会長・副会長・校長とで参加した報告があった。

・(高井委員) コミュニティ・スクールがどういう方向に向かっていけばいいのか迷いながら子供達のために関わっていくハートフルサポーターをすすめてきたが、目指す姿とは違う気がしていた。研修に参加して、地域の人がこういう小学校がいいなと思う意見や思いを出し合っていくのが目指す姿だと思った。

・(本間委員) 「OK から Let' s」という言葉が印象的だった。OK は学校経営構想図の承認、Let' s は一緒にすすめるということ。ランドデザインに反映させてもらえるような、こういう学校だったらいいな、通わせたい学校だなと思う意見を出してほしい。

・(高井委員) 委員だけで考える時間が必要ではないか。

・(本間委員) 協議会という形にこだわらなくてもよいので、次の協議会の前に臨時の会を行うのがよいと思う。

・(堀田指導主事) このような議題なら協議会として行った方がよい。学校側が参加して耳を傾けることで反映されていく。

(3) 令和5年度学校運営協議会自己評価表と次年度の目標について

・(学校から) 自己評価用紙は年が明けてからの送付予定。

・(本間委員) 自己評価用紙の記入の前に臨時の会を開いて皆で話し合いをしよう。来年度の目標やこういう学校にしたいという思いを持ち寄ってほしい。

(4) その他

・(村木文委員) 中学校から南へ行った道路の草がすごく伸びている。通学路だったら整備が必要だと思う。

・(高井委員) 夏休みに自分が草刈りを頼み、学校の草刈りをしてくれた人がいるが、学校は把握しているのか。

・(学校から) 誰が対応したか確認をする。

《会の終わりに》

・(オブザーバー小池様) 積志ジュニアウインド(金管バンド)の活動が始まっていて、18日と19日に行われる積志協働センターまつりでも積志ジュニアウインドの活動が見られる。ハートフルサポーターとして参加した書楽会その他、様々な活動が見られる機会となっている。

・(堀田指導主事) 中郡小学校の学校運営協議会の方向性は間違っていない。今日の話し合いは熟議としてとてもよいものだと思う。

次回の学校運営協議会の開催予定(今後の状況により変更する場合があります)

未定	第4回 学校運営協議会(臨時追加)	未定
2月16日(金)	第5回 学校運営協議会	14:40~